



めざす 「かしこく」 様々なことに興味・関心を持ち、自ら学び、考え、正しく判断し行動できる子

子ども像 「心豊かに」 自分を大切にするとともに、友だちなど自分以外の人も大切に思い、つながりあって行動する子

「たくましく」 健康や体力の向上維持に努め、めあてに向かって粘り強くやりぬく子

めざす学校像 子どもが喜んで通う学校、子どもがつながりあって活動する学校、子どもに確かな学力が身につく学校

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~akeno-e/>

編集・発行 校長 中村幸博

H28全国学力・学習状況調査の振り返り(その1)

4 / 19 (火) に全国の小学校6年生 (中学校は3年生) を対象として、国語・算数の2教科で実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、予定より一月遅れ、9 / 29 (木) に公表されました。

新聞をふくめマスコミは「平均正答率」を中心に報道しますが、平均正答率 = 正答率を平均した数値には、各新聞紙も述べていますが、あまり意味がありません。大切なのは、「平均正答率」を比べ合うことではなく、各設問の「正答率」を見て振り返ることであり、子どもたちができていない答え方や理解度を分析し、これからの授業・指導の改善に活かすことです。

三重県全体では、国語Bと算数Aは初めて全国より上回り、国語Aと算数Bもほぼ肩をならべる位置までになりました。明野小は、この正答率だけでいうと、国語Aと算数A (ともに基礎基本を問う問題) は全国・三重県より少し低い程度ですが、Bは全国に比べ4ポイント程度下回る結果となりました。昨年度末からの学年での取組の成果は十分に出てきています、まだ道半ばですが。後期には、6年生も他学年も、今の学習に臨む姿勢を保ちつつ、引き続き基礎学力の定着とそれらを活用しての問題解決能力の向上を図っていきたく考えています。



詩の情景を考えながら、詩をペアで音読する3D(本文とは関係ありません 写真上)

今回の6年生の学力調査をそれぞれの設問で見ていくと、

☆国語A問題 (主として知識の問題) 全部で15問ありました。6年生の結果は、

国語A	90%以上	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満
明野小	3問	2問	2問	3問	5問

結果です。国語Aは、子どもたちはどの設問にも粘って取り組んでいる結果が出ています。問い1-1~3と問い1-2-1の漢字の読みと書き、問い5の読みと力の問いは三重や全国よりも正答率が高く、領域でのデータでも「読む能力」「言語についての知識・理解」の正答率は高いです。60%未満の問題は次の5題です。

《問い1-2-1》漢字を書く問題、「したしい友人と...」「先生にそうだんする」。正解は「親しい」「相談」。子どもたちの理解度が今一步でした。また、無回答率も高い問いです。

《問い3、問い4》書き手の表現をより適切にするための助言を選択する問題や目的や意図に応じて書く内容を整理し適切なものを選択する問題、2つとも「(まとめたり、要点を)書く能力」を問うものです。これだけでは全体を測ることはできませんが、「書く能力」に関してはやや弱いと考えられます。

《問い7アイ》『永久』という書写で、書く際の留意ポイントを文字の大きさや配列を用紙全体から考えて選択して答える問いです。最後に、ローマ字の問い《問い8-1、2、3》が出されました。三重県でも全国でも正答率は40%~50%強で、6年生とあまり変わりませんでした。ただ、無回答率が明野小は高かったです。

☆国語B問題（主として活用の問題）全部で10問ありました。

国語B	90%以上	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満
明野小	0問	0問	0問	4問	6問

全国や県全体でも80%以上の回答率はなく、70%台が2問ある問題内容でした。

60%未満の問題のうち、《問い1三》、《2二（1）》、《3一と二》で、「図やグラフを基に内容をまとめて書く」「ある条件にしたがって、書く」「話の流れに沿って、質問を書く」というもので、子どもたちの苦手な活動、私たちの指導の方向の一つが見える結果となりました。

☆算数A問題（主として知識の問題）全部で16問ありました。基礎・基本的には、明野小の子どもたちは特定の領域をのぞいては、おおむね理解している結果が出ています。

算数A	90%以上	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満
明野小	2問	2問	6問	3問	3問

数と計算、量と測定の領域であまり良い結果が出ていません。数と計算では、小数や分数をふくむ乗法除法や《問い3（1）》《問い4》のような量と測定の問いはかんばしくない正答率です。

今後の基本的な計算や考え方の練習が必要でしょう。それ以外、図形や数量関係はよく取り組んでいる結果です。

☆算数B問題（主として活用の問題）全部で13問ありました。昨年度と同じく、これらの問題は、全国的にも平均正答率が40%台と低く、各設問でも正答率が40%台や20%以下、一けたのものがありました。

算数B	90%以上	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満
明野小	0問	1問	1問	2問	9問

算数A問題と同様、数と計算や量と測定での小数の入っている問いには苦手意識があるようです。したがって、小数等をふくむ問題での解き方や説明、回答が出る理由を書く問題は、正答率はるかに低くなっています《問い1（2）》《問い2（3）》《問い3（2）》《問い4（3）》。

《問い5（1）、（2）》のように、すべての領域をふくんだ総合問題は初出ですが、全国的にも回答率が低く、一けたです。また、無回答率も高いです。今後全国的にも研究課題となるでしょう。

算数においても、さまざまな解き方がある課題を設定することや、その解き方を明確に説明できる指導等に留意をして取り組む必要性を感じます。これからの指導において、

- 国語A、算数Aでの結果を見ると、一定の領域・分野以外は基礎・基本的な力は備わっていると感じます。他学年も同様ですが、漢字の読み書き、国語の文法(主述)、算数の小数・分数の加減乗除などを再度復習する必要性があるでしょう
- 国語や算数、理科・社会でも、なぜこの解答となるのか？その解き筋は？この解答でない理由の説明？などを述べるだけでなく「文字で表す」「書く作業」を取り入れた授業をより一層していきます

夏休み作品、入賞おめでとう！

伊勢志摩地域の防火ポスターコンクールで、各学年部門で、

最優秀賞 岡埜 泰成 君（3D）

優秀賞 久保 美理愛さん（1B）、大西 一颯君（1A）、野中 凱斗君（1C）

野中 悠貴君（4C）、山上 仁一朗君（5C）

秀作 新田 光梨さん（1D）、中西 啓貴君（4B）

それぞれ受賞の報告を受けました。おめでとう。賞状等が届くのは11月初旬です。また、11/14（月）14時～市防災センター2Fで表彰式も行われます。後日通知が届きます。